

「最高に信頼される相談相手となる」には

私達アイクスグループの経営理念に「最高に信頼される相談相手となる」と言う1項目があります。

これは、顧問先にビジネス上の重要な問題や、そこで働く人達にプライベート上のなやましい問題が発生した時に、是非、あの方に相談に乗ってもらいたい、是非あの人の意見を聞いてみたい、と思われる人になりましょう、と言うことですが、これは、口で言う程容易なことではありません。

そこで、今回は、この最高に信頼される相談相手となるためにはどのような資質が必要なのか考えてみたいと思います。

これは、相談をしたい人の立場になってみればいい訳で、比較的判りやすいと思うのです。

まず第1に

相談相手の立場になって話を聴くことができること

もし、その立場に自分になったらどうするか、当事者意識があるか。話を聞く (hear) のではなく、聴く (listen to) ことができるか。

第2に 口が固いこと

相談事というのは、多くの場合、業務上の重大事項か、他に知られたくないプライベートなことが多い。

相談事が簡単に外に洩れる怖れがある人には相談出来ない。常日頃から寡黙な人がよい。

第3に 客観的に判断できること

相談者の立場になって相談に乗ってくれる反面、冷静な判断力と円満な常識がなければ、この人の意見を聞いてみよう、という気にはなれない。変に相談相手に迎合しないこと。間違った考え方には、ずばり指摘する勇気があること。

第4に 解決力があること

ただ、聴くだけでなく、問題を整理して適切なアドバイスが出来ること。又、具体的な解決策を提案出来ること。ケースによっては後方支援の出来る人、団体、又はグループを紹介できること。

第5に 先見力があること

ことによっては、現況だけでなく今後の方向性をみて判断しなければならないことがある。

第6に 明るく、何事にも前向きであること

エネルギーッシュで人生を積極的に生きている人でないとよい解決策は得られない。暗くて後ろ向きな人には、相談する気になれない。

第7に 相談を掛けてよかったと思われること

もの事の解決ってそんな簡単なことではない。具体的な解決策は得られなかったが、相談に乗ってもらったことでとても勇気が出たとか、思っていたより大した問題ではなくなったとか、そんなことで悩んでいた自分が小さく思えてきたとか、相談者の心の整理や、考え方を前向きな姿勢にしてあげられれば相談としては成功だと思います。

それでは、このような資質は、どうしたら得られるのであろうか。

その第1は 人生を積極的に一生懸命生きること

第2は 多くの人、特に人生の先輩の話を積極的に聴くこと

第3は 本をよく読むこと、特に人生訓（哲学・宗教書）の本を精読、座右書とすること

第4は 新聞を良く読むこと
最低3紙、出来れば5紙

第5は 人を大切にすること、多くの友人知人を持つこと

第6は 健康管理が出来ること
健全な肉体に健全な精神が宿る

第7は 日々感謝して生きることが出来ること

以上は、どこかの本より借りてきたものではありません。従って、論理性には欠けると思います。

私は今年第6回目の年男で、7月21日、満72歳を迎えました。

おりしも、今年7月で税理士開業満38年となります。

或る意味で、これは、これまで私の生きてきた生き様でもあります。

合掌

平成20年7月30日

アイクス税理士法人

代表社員 飯田 昭夫